

ホッと住めるまち摂津へ

ホッと住めるまち摂津を目指して、第2回定例会の一般質問（6月25日）では、以下について取り上げました。

連番	項目	質問要旨（抜粋）	市の回答要旨（抜粋）
1	アフターコロナでの学校教育の充実について	<p>教育委員会は、約3か月の学校休業による<u>小中学校の学業を取り戻す</u>ために、夏季休暇及び冬期休暇の大幅短縮、1週間あたりの学習時間増や学校行事を見直すとしている。</p> <p>ただ、学業を詰込み過ぎて、子どもたちがやる気を損なわないか、楽しい思い出が作れないのではないかと保護者の懸念を聞くが、市の見解を問う。</p>	<p>授業日数を増やすことで学習内容が詰め込まれないよう、そして学力定着の為の<u>家庭学習を充実</u>させる。また実施可能な<u>行事は感染症対策を講じて継続</u>する。</p> <p>その他、今年度より小1～高3までの12年間、自身の目標を設定し、評価を行い、<u>夢や職業の自己実現を図る「キャリア・パスポート」</u>に取り組む。</p>
2	時代ニーズに応じた墓地行政について	<p>年間死亡者が全国で2004年約103万人のところ2025年には150万人を超える高齢多死社会を迎える。</p> <p>本市の墓地行政の課題は墓地管理困難なケースの増加と需要に比して限られた市内墓地である。この解決には、墓地管理困難者への<u>墓じまいの促進</u>（無縁墓防止）、狭い面積でも相当数収骨できる高槻市にもある<u>合葬式墓地の設置</u>が挙げられるが、市の見解を問う。</p>	<p>近年の少子高齢化や単身世帯の増加、社会情勢の変化など背景に、<u>墓地においても多様なニーズ</u>があると認識している。</p> <p>実際に<u>墓地の移転や墓じまいに必要な改葬許可申請も増加傾向</u>にあり、引き続き適正な市営墓地管理を行う。また複数の焼骨を合同で埋蔵する合葬式墓地についても引き続き研究する。</p>
3	持続可能な一般廃棄物処理基本計画に向けて	<p>このコロナ禍でのゴミ収集に関して<u>直営（市収集員）や委託業者が活躍された</u>。それを踏まえ、持続可能な収集体制を<u>平時・有事ともに維持</u>することが大切である。</p> <p>改めて広域処理※での収集運搬体制について市の見解を問う。</p>	<p>広域処理に向けた収集運搬体制の整備にあたり分別区分の在り方や茨木市環境衛生センター※への運搬ルートなど見直しが必要となり、<u>市民の利便性や収集運搬を担う事業者への影響も考慮</u>する。</p> <p>（※2023年目途に摂津市環境センターは廃止）</p>
4	市の新型コロナウイルス感染症対策体制について	<p>コロナ禍で、市は教育委員会も含め多岐にわたる対応が必要となった。<u>市のコロナ対策</u>はどのような態勢で対応されたのか、市の見解を問う。</p>	<p>2月3日に市長をトップとした摂津市新型コロナウイルス対策本部を設置して対応した。</p> <p><u>市長が自ら陣頭指揮</u>を執り、危機管理部門が全庁を統括し、リーダーシップを発揮することで<u>感染防止拡大と市民生活の安定</u>に鋭意取り組んできた。</p>
5	市のガバナンスについて	<p>1,500万円の還付金誤り、親睦会費盗難疑いなど一連の問題についての今後の対応、また<u>市のガバナンス立て直し</u>について市の見解を問う。</p>	<p>市長「第三者機関を設置し再発防止は勿論のこと、緊張感のある市政運営、市民の皆さんの<u>信頼回復に努める</u>べくハンドルを切ってまいります。」</p>

その他の項目

6 「アフターコロナでの中小企業支援と相談体制強化について」、7 「シティプロモーション戦略の具体化」

8 「道路交通を含む中長期的なまちづくり整備について」、9 「新たな危機管理体制について」

詳細はHP「松本あきひこ」に掲載

摂津市議会議員 <自由民主党>

ホッと

住めるまち摂津へ

松本あきひこ

令和2年7月発行

臨時通信



※これは摂津市議会議員松本あきひこの市政活動を報告するものです。

第三弾の新型コロナウイルス感染症に関する市独自の経済支援策が

摂津市議会令和2年度第2回定例会（6月26日）で可決されました。

支援策一覧

連番	項目	内容	問い合わせ
1	水道料金を減額	市内全ての世帯や事業者を対象に、水道料金にかかる基本料金を50%減額 ・対象期間：令和2年7月～10月検診分	料金課 06-6383-1525
2	子育て応援商品券	子育て世帯の生活を支援する事を目的に、対象児童1人あたり商品券1万円分を支給 ・対象者：令和2年6月児童手当「本則給付」受給対象者 ・支給時期：8月下旬～ ・詳細：8月上旬に市HP掲載予定	子育て支援課 06-6383-1980
3	小中学校の給食費の補助	・小学校：6月～8月の給食費を無償 ・中学校：7月20日～来年3月の期間内に、10食分を無償提供	教育政策課 06-6383-1930
4	英検受験費用を全額負担	実用英語技能検定受験費用（10月上旬に各校で実施）を市が負担 ・対象者：市立中学校の3年生	教育支援課 072-657-0711
5	融資決定時に保証料を全額補給（事業者向け）	市内中小事業者を対象に、資金調達を円滑に行うための「摂津市中小企業事業資金融資」を実施 ・信用保証協会に支払う保証料を、本来の完済時でなく借入決定時に、市内中小事業者へ全額補給（上限 30万円）	産業振興課 06-6383-1362

コロナ禍で、本市もまた教育（学校休業）・経済（自粛等での経済状況悪化）に大きな影響を受けています。この状況において森山一正市長がリーダーシップを発揮され、ひとり親家庭激励金、小規模事業者等激励金、医療・介護・福祉関係の方々への激励金や商工会と連携した摂津エール飯などの施策を行われました。

しかし、まだまだその影響は大きくかつ長引くもので、森山市長は上記の第三弾支援策をまとめられ議会に提出されました。我々自民党・市民の会は、その提案に対し、市民ニーズに合致した適切な支援策として評価し、議会においてこれらの支援策に賛成したものであります。